

子どもたちを人間性豊かに真っ直ぐに

西田SSクラブ代表
にしだ きよか
西田 清香さん(余呉町池原)



受講生に囲まれる西田さん(最前列右2人目)

撮影場所:箱館山スキー場

「物心ついたときには父の通勤用のスキーが門口にありました。5歳の誕生日に板を買ってもらいましたが、戦争が始まりほんの少ししか滑れませんでした」と西田さん。教師になり2年目に赴任した今津中学校(高島市)でスキー教室に出会い、そこからスキー人生が始まります。結婚と同時に高月中に赴任。スキーを使ったりレーを授業に取り入れるなど、雪が豊富なこの地域で冬季スポーツを根付かせたいという思いを徐々に形にしていきます。次の鏡岡中でスキー指導を本格化。冬季スポーツを育成する環境を学校運営の中でどう位置づけるかを学ぶために、群馬へ内地留学するなど、体制作りに注力します。「冬を謳歌するかのように活気

みなぎる群馬を見て、湖北での冬の暗いイメージを転換したいと思いました」。木之本中に赴任して3年目、突如大きな壁が立ちはだかります。甲状腺を患い、手術しても助かる可能性は1%という医師の厳しい言葉。それでもスキーへの強い思いから、「1%にかけます」と宣言。毎週見舞いに来てくれる生徒たちのために、固い決意と精神力で次の年には復職を果たします。手術から3年、51歳で念願のクラブを設立。その熱意は評判を呼び、5年後には150人を超える受講生を抱えるクラブに発展。運転免許を61歳で取得しクラブ継続につなげました。スキー技術と併せて力を入れるのが、生活面や精神面の指導。「真っ直ぐに、

人間性豊かな子に育ってほしい」と合宿中の食事にも細心の注意を払います。その思いは、年下の子に一生懸命教えたり失敗したら励ますなど、受講生の態度や行動にも表れ、保護者からも高く評価されます。設立33年目のいま、かつての教え子たちの子どもがクラブの門を叩いてくれるのが何よりの励みです。いま自らに課するのは、健康であること。「受講生に何かあってはならない。健康でないとい責任が果たせない」と食生活に気を配り、練習や試合に照準を合わせた生活を心がけます。「果敢に挑戦する姿を見るのが嬉しい。可能性を最大限に伸ばしてあげたい!」。衰えることのない情熱は、多くの人を惹きつけてやみません。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課(☎65-6504)まで申込みください。



いつもにぎやが、元気いっぱい兄弟!
2人の笑顔が一番の宝物です。

清水
悠生ちゃん(平成26年8月生まれ)右
葵生ちゃん(平成29年5月生まれ)左
(湖北町伊部)



伶ちゃん、2歳のお誕生日おめでとう。
いつもみんなに癒しと笑顔をありがとう。
ますます幸せでありますように。

高岡
伶ちゃん(平成28年3月生まれ)
(下坂中町)

まちの人口	平成30年3月1日現在	人口 119,137人	男 58,264人	女 60,873人	世帯数 45,325世帯
	平成30年2月中の異動	転入 220人	転出 190人	出生 75人	死亡 112人 婚姻 47件